

「献血」とは、病気やけがの治療で輸血や
血漿分画製剤^{けっしょう}を必要とする患者さんのために、
自分から進んで血液を提供するボランティアです。



血液は、医療技術が進歩した今でも人工的に造ることができず、長期保存もできないため、一年間を通して継続的な献血へのご協力をお願いしています。



少子化により献血可能人口が減少している中、特に10代～30代の献血者が減少しています。患者さんに血液をお届けするためには若い皆さんの献血へのご協力が必要不可欠です。



血漿分画製剤とは、血液中の血漿と呼ばれる液体からつくられる「くすり」です。やけどや感染症、血友病などの病気の治療に使われています。

献血にはいくつか種類があり、それぞれ献血できる年齢が決まっています。

献血の種類	200mL献血	400mL献血	成分献血
男性が献血できる年齢	16歳から	17歳から	18歳から
女性が献血できる年齢		18歳から	

献血についての詳しい情報は、
日本赤十字社のホームページをご覧ください。

スマートフォン・パソコンをお持ちの方はこちらから ▶

日本赤十字社 献血



「はたちの献血」キャンペーン (令和8年1月～2月)

【主催】厚生労働省、都道府県、日本赤十字社

【後援】一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本民営鉄道協会、
一般社団法人日本コミュニティ放送協会

献血は、身近な社会貢献

誰かの
今をつないでいく。
はたちの献血